

勉学の旗

(高須中学校だより)



平成28年9月28日号 高須中学校長 山口和久

体育大会終わる

9月21日に体育大会が開催されました。平日開催になりましたが、当日はたくさんの来賓の方々や地域、保護者の皆様に参観いただき、本当にありがとうございました。

3年生は、「組体操」と「ダンス」という学年単独のプログラムがあり、まとまりやすかったことありますが、練習時から特に素晴らしい成長と団結力を見せました。学年の階の廊下には、体育大会に向けての学年の目標や約束事、生徒の皆さん一人ひとりの意気込みが掲示されており、気持ちの高まりがとても伝わってきました。学年練習時も、参加できる人全員のリレーが組まれ、誰一人欠けることのできない、そして実際に見学者が誰もいない、緊張感あふれる練習が行われていました。「ダンス」も「組体操」も先生方に指導されながらも「自分たちの力で！」という生徒の皆さんの気持ちが伝わってきます。もしかしたら、家でダンスや組体操の練習をしている3年生もいたのではないのでしょうか。



このような3年生の成長を見ていると、たぶん3年生の皆さんが「たとえ運動が苦手でも、自分のベストを尽くすことの心地よさ」を感じ、もっと言えば「本当のかけこよさ」や「本当の強さ」とは何かを自分で考える体育大会になったのではないのでしょうか。

そして、「ベストを尽くす心地よさ」を味わった生徒の皆さんは、様々なことにベストを尽くすことができるようになります。たとえ勉強が苦手でも勉強でベストを尽くすことができるようになります。そして最後にそれは「ベストを尽くす習慣」となり、自分の人生をどんどん変えていきます。新たな



ことに「チャレンジ」して、また、ベストを尽くし、次々と成功させていきます。たとえ、失敗しても「ベストを尽くした」こと自体にやりがいを感じ、工夫をして再び「チャレンジ」しようと思います。

「ベストを尽くす心地よさ」を経験したことの無い人は、残念ながら「チャレンジ」しません。特に苦手なことには「チャレンジ」しようとしません。ずっと、そこに停滞したままで、うまくいかないことの言い訳にとられます。

そう考えると、学校行事は「ベストを尽くし」「やってよかったなあ」と生徒に感じさせる絶好の機会です。何にしても、我々大人が先回りして、子どもたちが「自分でベストを尽くす」機会を奪ってはいけません。「自分でやるべきことは、自分です。自分の人生は、自分で歩く。」ことを支えなければなりません。

今回、先生方が粘り強く、生徒にベストを尽くさせる取組をしていただいたこと、それを保護者の皆様が支えていただいたことに、心より感謝いたします。

そして、今の2年生が来年3年生になった時、1年生が再来年3年生になった時、今年の3年生を集団として越えることができるよう、願っています。

以下、体育大会の生徒の感想の一部を掲載します。

練習期間中も当日も、昨年までと比べて学年の雰囲気全然違ったような気がします。みんな前向きにやる気をもってそして何より楽しく練習できました。クラスだけでなく、学年全体の団結力も高めることができました。
(3年1組 女子)

〔裏面へ〕

最初はバラバラでも、みんなで一つの目標に向かってがんばるとよいものができることが分かって本当に良かった。
(3年2組 男子)

組体操の練習がきつかったけど、それに見合った感動がかえってきたからとてもうれしかったです。
(3年3組 男子)

私は体育が得意ではないから、体育大会が好きではありませんでした。でも今年は練習も本番もすごく楽しかったです。ダンスは苦手だったけど、みんなが教えてくれたので本番がんばって踊ることができました。団結してできたのでとても思い出に残る体育大会になりました。
(3年4組 女子)

ぼくは、体育大会を通してわがクラスの素晴らしさ団結力の強さを知りました。みんなの力はすごいと思いました。いつもは少しダラダラしたクラスですが、開会式やラジオ体操など競技以外のところもしっかりやっていたし、他の人の競技のときも応援などもしていました。そして自分たちの競技になると、声を出して、一生懸命して、みんな笑顔で、すごく楽しそうでした。すごく充実した一日でした。
(2年 男子)

体育大会の前日は、あまり眠れませんでした。午前中の種目が終わり得点を見ると、2位でした。みんなとても喜んでいました。3年生のダンスと組体操はさすがでした。最終の成績はあまりよくなかったけど、クラスで一致団結できたのでよかったです。家の人からもがんばったねって言われ、良かったです。来年もがんばります。
(1年 男子)

(たくさんの素晴らしい感想の中から、本当に一部、またかなり省略して掲載しています。)

地域から応援される高須中学生を目指して

9月25日(日)本校の吹奏楽部と合唱部が、学校外でそれぞれの活動の一端を発表する会がありました。吹奏楽部は「定期演奏会」を開催し、合唱部は高須地区の「年長者のおまつり」に出演しました。

吹奏楽部の定期演奏会について、本当に子どもたちは幸せです。立派な施設でたくさんの来場者が聴いてくださるなかで、演奏できるのですから。そして、本番の演奏会は聴いてくださる方の心を揺さぶる素晴らしいものだったと聞いています。

「年長者のおまつり」に合唱部は今年初めて出演しました。特に合唱部が歌った「ふるさと」は、年長者の方々に感動を与え、皆さん一緒に口ずさんでくださったそうです。すぐに主催された方から「素晴らしい合唱をありがとうございました。」とお礼の言葉をいただきました。

せっかくの生徒のがんばりですから、そのがんばりを多くに方々に見ていただければ幸せです。そして、周りの方々、特に地域の方々から応援してもらえる部活動や高須中学校の生徒であって欲しいとも願っています。